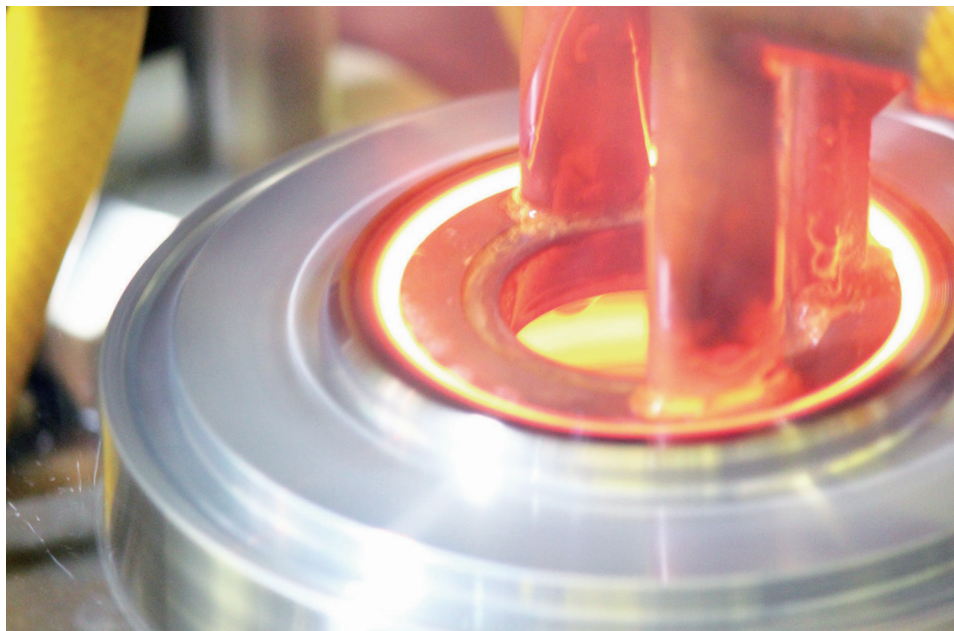


株式会社熱研

高周波焼き入れを得意とする
少数精鋭の熱き集団

納期相談
コスト相談
試作可
小ロット
量産対応



自社で生産する治具とコイルによる熱処理で部品の性能を向上

業務内容
熱処理で
約2万品種の実績

金属加工品の必要な部分を急加熱・急冷却して硬化させ、耐摩耗性・耐疲労性・靱性を向上させる高周波焼き入れ熱処理を行っている。駆動部分にかかわる自動車部品を主力に農機具部品、一般工作機械部品など、今まで約2万品種の熱処理を手がけ、他社には真似のできない高周波焼き入れ熱処理のノウハウを蓄積してきた。また、平成22年より、熟練技能者の手作業から自動搬送等による生産方法を導入し、品質・コスト・納期の3つを厳守することで取り組み、顧客から高い信頼を得ている。

強み
治具の開発と品質管理
基準の認定が中核に

自社で生産する治具を使い、最適な処理方法を提案する。熱処理の要となる加熱コイルも自社製で、その数は3000種類以上。「コイルが焼き入れの命。コイルの性質で製品の出来が変わってくる」と岡田英光社長は強調する。また、平成20年のリーマンショックの煽りを受けて仕事量が減ったため、ISO9001の取得に動いた。「取得にはお金も時間もかかったが、それが看板となって仕事が増えた」と振りがえる。その後、三菱重工業（株）など大手から熱処理工場の認定を受けたことで「商談にもちこみやすくなった」と話す。

人材育成
社を挙げて資格取得を
バックアップ

熱処理関連の国家技能試験に挑戦す

ることを社員個々の目標にしている。現在18名が取得。岡田社長はその理由を「自分の仕事にプロ意識を持つてもらうため」とし、資格取得者には毎月奨励金を出している。また社を挙げて試験対策のフォローを行うのも人材育成において重視している。受験者に対して過去に出題された問題を資料にまとめて配布し、特に初めて試験を受ける社員には勉強会を実施している。加えて資格を持つ社員が少しずつ作り上げてきたフリックボードを工場に置き、試験の受験者が空き時間に確認できるようにしている。

今後の展望
さらなる効率化と熱処理から
派生するサービスの提供

平成24年に本社の近隣に工場を立ち上げた。これまでの工場は賃貸だったが、新工場は用地を購入して建設した。そのため「工場にいろいろと手が加えやすい状況になった」と岡田社長は話す。また、若い社員が多い一方で、まもなく定年退職を迎える技術者が続出する。新工場の生産計画もあわせて、もっと簡単に仕事ができるいか、ということを念頭に置いた会社経営を急ぐ。さらに成長の柱として金属部品の熱処理事業から派生する新たな展開を模索している。強みとしているコイルの販売も視野にあり、「特定の取引先に依存しない経営を目指す」と意気込む。



工場の効率化に積極的に取り組む

COMPANY PROFILE

株式会社熱研

大版27

ISO 9001

当社の歴史

高周波焼き入れを専門に43年。自動車部品・農機具部品・その他一般工作機械部品の金属熱処理受託加工を行っています。「企業は人なり・技術者たる前に人間たれ」をモットーに人材育成につとめ、確かな技術で信頼と誠実をスローガンにあげ、みんなで基本を忠実に嘘や偽りのない技術を社会に提供し、日々成長し続けています。

確かな技術が生み出す、社会に信頼と誠実を
“熱を操り研鑽し鋼の本質を究める”

代表取締役社長 岡田 英光さん



■主な事業内容

高周波焼き入れによる
熱処理

■主な取引先（納入先）

自動車産業部品メーカー、
農機具部品メーカー、
一般工作機械部品

住所／〒574-0062
大東市氷野
3-16-25

TEL／072-873-9831
FAX／072-873-6576

創業／昭和48年10月
設立／昭和48年10月
資本金／1,000万円
従業員／19名

<http://www.e-nekken.co.jp>